

2023年7月25日

SUBARU 日本ライフセービング協会の「オフィシャルパートナー」として ライフセーバーカーの提供をはじめとする活動支援を実施

SUBARUは、公益財団法人日本ライフセービング協会（本部：東京都港区、代表：入谷拓哉理事長、以下JLA）が実施する「水辺の事故ゼロ」をめざす活動をサポートするため、JLA「オフィシャルパートナー」として、今年もSUBARU販売店を通じ「SUBARUライフセーバーカー」を提供しました。



「2030年 死亡交通事故ゼロ」を目指すSUBARUは、「水辺の事故ゼロ」をめざすJLAの想いに共感し、2020年からライフセーバーの監視救助活動をサポートするための車両として、「SUBARUライフセーバーカー」を提供してきました。

2023年度は、JLAのオフィシャルパートナーとして車両提供台数を拡大し、フォレスターなど計32台の車両を全国25社のSUBARU販売店*1を通じてJLAおよび全国29団体の都道府県ライフセービング協会に提供しました。「SUBARUライフセーバーカー」は、地域の巡回や安全指導、ビーチパトロールなどに活用されています。また、全車に小型・軽量のAED（自動体外式除細動器）を配備*2し、救命活動に役立てるとともに、JLAのインストラクターによる心肺蘇生やAED操作方法といった知識や技能を広めるサポーター講習会（BLS*3教育体験など）を共催するなど、活動の幅を広げています。

航空機メーカーのDNAを持つSUBARUは、「人を中心としたモノづくり」を通じて「安全（いのちを守る）」を最優先に考えています。安全性や走破性などを追求したSUBARUらしい商品や価値を提案し、人の心や人生を豊かにできるよう、お客様や社会に寄り添い、「安心と楽しさ」を提供していくことで、人・社会・地球までも笑顔にするような会社を目指しています。これからもJLAの「水辺の事故ゼロ」をめざす活動*4への協力をはじめ、様々な取り組みを進めていきます。

ライフセーバーの想いとライフセーバーカーを紹介するショートムービーを「SUBARU On-Tube」にて公開中。

・<https://www.youtube.com/watch?v=sfPYZDxNxrQ>

・<https://www.youtube.com/watch?v=75dB4FOHMis>

【ご参考】日本ライフセービング協会ホームページ <https://jla-lifesaving.or.jp/>

- *1: 北海道スバル株式会社、岩手スバル自動車株式会社、宮城スバル自動車株式会社、山形スバル株式会社、福島スバル自動車株式会社、新潟スバル自動車株式会社、北陸スバル自動車株式会社、神奈川スバル株式会社、千葉スバル株式会社、東京スバル株式会社、静岡スバル自動車株式会社、名古屋スバル自動車株式会社、大阪スバル株式会社、京都スバル自動車株式会社、兵庫スバル自動車株式会社、広島スバル株式会社、山陰スバル株式会社、岡山スバル自動車株式会社、山口スバル株式会社、東四国スバル株式会社、福岡スバル株式会社、西九州スバル株式会社、大分スバル自動車株式会社、南九州スバル株式会社、沖縄スバル株式会社
- *2: 2023年6月30日～8月31日の期間に使用する提供車両全車にAEDを配備します。
- *3: BLS: Basic Life Support の略。心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置を指します。
- *4: 溺水事故によって失われた命と溺水事故の悲惨さに想いを寄せ、防止できるこれら悲劇的な事故に対し、世界中でその認識を高める事を目的として、毎年7月25日を「World Drowning Prevention Day」(世界溺水防止デー)とする事が国連総会にて採択されています。日本ライフセービング協会では、Do one thing (何かひとつの行動) として「Going Blue」(青く染まろう!) キャンペーンを実施しています。詳しくは JLA のサイトをご覧ください。 (<https://jla-lifesaving.or.jp/news/3413/>)